立教大学新聞

発行所
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座東京70853
電話(86)3120—9
内線 37
編集兼印刷発行人
江田穀雨
(毎月廿日発行)

文化会だより

—経済学会— 研究日 月曜日
一年対象 宇治田助教授、木曜日
リガー研究 三四年対象 宮川
教長、金曜日 日本資本主義論
史 一年対象 加藤講師

—法論部— 十二月十二日全関東宗教大学雄弁大会で東海林君二位になる、今後共議論会を盛大に行う予定、来年の総選挙の応援弁士として各政党から依頼多く来る

—社研— 研究日 水曜日 民族問題研究 宇治田助教授

この一年 学生社会の話題を拾う

本紙記者匿名座談会

この一年学生社会にもさまざまのの話題があった。日本のおかれた国際的立場から学生もまた学園という社会に一人どこにもつていることは許されない。何らかの形でわれわれの実生活と密接に結びついてくるのだ。本紙ではこの恒例の記者匿名座談会を開いて広く学生社会に起つた諸問題さらに立教学園の学生々活について学生新聞記者の眼に映じたそのまゝを語り合った。この批判の中から何らかの発展への急所を見出したいというのがわれわれの念願である。

恐れる〝復活の世相〟 トップは京大事件

司会 初めに京大事件から。京都は認める。学生運動の動向でも大国学会が中心になって天皇の京もあるだろう。然しね、方法にお大行幸に際して平和に対する公開いてもモラルの点でも誤まりは認質問状を発して、プラカードを掲げて要求した。ついに警官隊の乱入で幕切れとなったあの事件だけて要求した。

C あの質問状は当然だと思う。

D 然しね。寧ろ天皇が気の毒に思う。まるで人権が無視された結果になったよ。

F とにかく勇ましいことやる学徒の真情の現り出た要求だったと思うね。

A だけどね、これ迄天皇制の問題とからんでくる。裸様を脱がうとしたんだ。

B そうだ、それは彼かにある。そういう要求の対象として天皇を持ち出したことは間接的に皆の天皇に復活させることになりやしないかな。

D 象徴になったからこそ、学生があゝいう要求を出す、当然じやないか。天皇が戦争にかりたてたんだから。何つ考えていると、質問したって少しも不思議じゃない。

E 現在の学生の叫びとして貴重かれたことは病人間のモラルもいゝね。

司会 その前に社会党の水谷代議士の私宅をブッコワしたという事件があったが。

D ブッコワしたなんてハデなりも甚しいよ、ありやガラス戸を押し倒したというだけだ。

B そりゃね、われわれは見て来た訳じゃない。日刊紙が誇張したと縦横した。こゝに根本的なネックがあるような気がする。

F 現代の混乱があるよう現状に朝鮮で本当に戦争しているのだ。

D たまたま京大に行幸になったんで、いゝ機会だと不安を満そうとしたんだ。

E それが偶然的なものであったということだね。

司会 その前に社会党の水谷代議士の私宅をブッコワしたという化されたかどうかは自身で考えて行動するかどうかにある。そういう道徳的なものを規定だけしたっていうことは、ありやガラス戸を叩き倒したというだけだ。

D 然しね。寧ろ天皇が気の毒に思う。まるで人権が無視された結果になったよ。

F とにかく勇ましいことやる学徒の真情の現り出た要求だったと思うね。

A だけどね、これ迄天皇制の問題とからんでくる。裸様を脱がうとしたんだ。

B 確かにそうだね。「真理こそ最後の勝利者でなければならない」ことを今より急な時はないか。

A 南原さんのこうことは何時これなんか非常に美しいって感じ。

教育勅語の亡霊か 文相の「國民道徳実践要綱」

司会 第十二臨時国会で文部文相が所謂る「国民道徳実践要綱」を出すんだといった。これが世間やないか。天皇が戦争にかりたてたんだから。何つ考えていると、質問したって少しも不思議じゃない。

E 現在の学生の叫びとして貴重かれたことは病人間のモラルもいゝね。

司会 うちの総長と喋べてと。

A 佐々木さんには、これとは驚けてこい」なんてのもあったな。

B うん、「スゴイ美人を引っ

D 非常に易らしい友情の表れだね。

B 体育会の学生って情に厚いところがあるぜ。スポーツマン・シップというところかな。

司会 自転車の形相、いゝ成績だったようだが。

D 第一位になって、日の丸を掲げてるよ。

B あゝいう国際試合で日の丸は淋しかった。クリスマスにしてもも文化祭にしても、そのためだけの文化会でありたくない。

B 予算が少ないから少ないで洞し物を厳選して重点的にやるべきだった。

D でも相当の予算がおりたっていうではないか。

B そうかい。そんならもっと

F その残りでもうちの一年分以上か。

E 前に房るが史研は昔の伝統の面影がうすれている感じだね。

B 然し、文化意識が低いね。

D 賦目。

B 一般的にお祭り騒ぎの感が

D 話は違うが、今年の文化祭は淋しかった。クリスマスにして

B 予算が少ないから少ないで洞し物を厳選して重点的にやるべきだった。

D でも相当の予算がおりたっていうではないか。

B そうかい。そんならもっと

E 来年はとにかくもっと活発であって欲しいね。

〝学生の胸打つ南原さんの演説〟

司会 次に東大総長の南原さんが任期満了して矢内原さんと交替することになった、その送別会での演説が相当感銘的なものだったというが、東大総長の占める政治的意味から、広く学問の話題たりうると思うが。

E NHKの録音で聞いたが確かにアピールするものだった。

B とにかく優れた人格者だね。

アジア大会裏話し

司会 四月にインドで開かれたアジアオリンピック大会に立教からバスケットの斎藤、荒井、自転車の杉原の三君参加して大いに立派に戦ってきた。

D 現在の日本にあって良心ある学者なら誰もいゝたいところだの内容だった。たゞその機会がなかなか。

B 荒井、斎藤君のインド行きについては美談があるんだ。二人の共同の出資で行ったんだ。飛行機の中で読んで下さいってね。

A 会員のサイン帖を贈った人達。

B 荒井、斎藤君のインド行きを掲げたのは古橋たち各位にしてはも文化祭にしても、そのためだけの文化会でありたくない。

B 予算が少ないから少ないで洞し物を厳選して重点的にやるべきだった。

D でも相当の予算がおりたっていうではないか。

B そうかい。そんならもっと

改めるべきXマスのお祭り騒ぎ

司会 Xマスも近づいたが、例年の体験からこれについて何か。

E 委員会で洞し物を毎時目に各部に押しつける感じが強い。これなぞ毎年決まった行事だからもっと計画的でありたい。

B 一般的にお祭り騒ぎの感が

〝貝心的な本学の教育方針〟

司会 この辺で学生界の話題に のった問題点を終って、学内一般の活動について語ってもらいたい。

A こないだある教授が云って広くクラスでの生活状態はどうだろう。

B 総務部長の話しだけど、学生は勉強するのが第一だから、教室のふん囲気をますよくする、ことだね。

D 教授が犠牲になってるって目なのかな。

A 英語会もよくやってるよ

F 四大学英語劇か。

A 高校生の英語弁論大会もあるぞ。あとこの仕事は伝統的だ。

D 一般的にまたまた低調だね

司会 予算の面でどうだろう。

E そりゃ少ないことで相当に活動を制限されてるってことは確かだ。うち(立大新聞)に例をとっても、連盟の経営委会議でいってるように日共なと一ケ月新聞を出してまだ六万円残るというからもっと多く 二七・九 二一・五
現状でよい 五四・一 五三・三
その他 七・二 一八・五
この場合は、教養科、三、四年を通じて現状が支持されているまたこれ以上調査に聞くことも技術的に困難であるとする意見と回数はこれでよいが、もっと活潑であれとする意見がその他の項に表れた共通の傾向だった

B そうかね。然し、われわれなとといって自眼視されるって憤るようだ。

D 英語会もよくやってるよ

F 四大学英語劇か。

A 高校生の英語弁論大会もあ

低調な文化運動

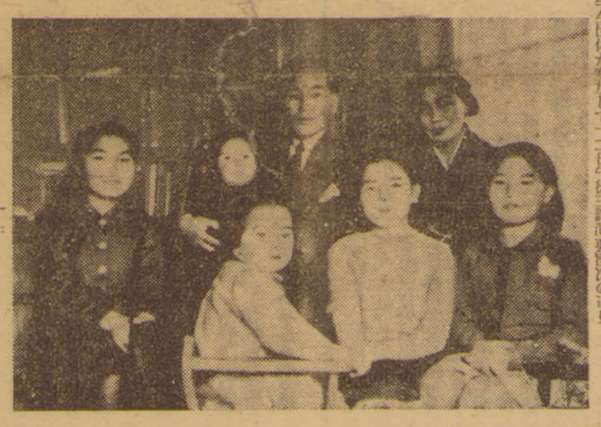
司会 結局学生は感謝すべきだ

A 高校生の英語弁論大会もあ

〝真理は最後の勝利者〟

南原総長送別会で講演

任期を満了して東大を去る南原前東大総長を送る送別会が、東大初まって以来といわれる全自治会と総長の講演は深い感銘を与えた。学生団体が参加して二百午後三講演要旨次の通り



自動車部前に新校舎増築

既報=当初、現在の体育館前に増築される予定であった新校舎はそ自動車庫前に建築されることになった。

なおこの工事は総工費六〇〇万円の予算で、明年秋の新学期までには出来る予定である。

楽しく写せる…
さくらフイルム
小西六寫真工業株式會社

海を越えた友愛の協力

長野教授と今昔物語

ロンドン大学で日本文学を講義する一英人教授が「今昔物語」の研究のため来日、この研究に本学長野教授が協力している

この話の主はロンドン大学が毎年一名日本文化研究のために教授を派遣している留学制度によって来日したロンドン大学教授DEミルズ氏でこれは、教授が、その専攻である「今昔物語」の研究に助力を求めて東大国文学科の久松主任教授を訪ねたことから初まる、この話を聞いた久松教授は日本国文学界で「今昔物語」を研究している長野教授を紹介、こゝに国境を越えて学問で結ばれた両教授の対面となったわけ、ミルズ教授は日本文学の研究を初めて既に七年、わが国古典文学は殆ど驚破、立派な日本語を話す日本通で、研究のためにはほとんど止めるほどの本年廿八歳になる努力家、この「今昔物語」の研究を博士論文にすると頑張っている教授は随時長野教授を訪ね、字句上の解釈などについて助力を得て研究を続けているが明年九月帰英するまで日本文今研究のため広く日本の習慣にふれたい希望である

ミルズ教授談 日本はいゝ国だ

公務旅行から帰ったばかりだという所三十分という約束で会った。とにかくて、家族と顔を合せる時が殆どないそうだ。大変な御苦労である。

「子供は時間が来れば必ず寝かせる」主義だという。

永年の外国生活が時間に凡帳面にしたのだろう。たまに立教女学校二年生の長女乃さんの「勉強をみてやる」ことがあるそうだ。「英語はこっちでやることがむつかしすぎるのか、ついて来てくれない」とコボす親の代、一代続かづといいます……。

今年になって女子学生宗教に関心を急だ。そこに一同を集めて懇談した。「卒業して、殆ど家庭人になるんだろうから、日本の女性らしい女性たれ」と。大いに賛成である。将来の賢婦たれということだろう。

学生部長として学生を補導してきて到達した結論は「家庭教育が第一」という。さしずめ子弟の教育はその意味で厳格だろうと想像する。

「野球部長になった四シーズン送った。これでまた忙しくなった。今年は連盟の理事長でレッド・ソックスチームを迎えて大活躍だった。

丁度、野球部から電話がかゝった。試合に負けた報告だそうだ。「僕は負けたとはいわない、只、勝ちを譲っただけでね」まさに洒々たる闘志というところだろう。(枯)

家庭教育がモットー

—学生部長 小川德治氏—

文化会部長に加藤君(三年)内定

四年生卒業に伴う後任文化会部長の選挙は十八日学文化会々長出席のもとに内定した

部長 弁論部加藤祐治君(三年) 副部長 写真部水田行雄君(ら三年)

誌『英米文学』復刊さる

雑誌 三月に第一号発行

昭和十八年休刊されて以来沈黙を続けていた雑誌「英米文学」がこのほど、英文科杉木教授らの手により復刊されることになり、三月に北星社から第一巻が出ることになった

同誌は〝立教経済学研究〟〝立教史学〟等とともに学内のみならず広く一般にも読まれていたものであり、大いに期待される

なお第一巻の執筆者には杉木、細入、富田、中川、飯島、師岡の諸教授が豊かれ、英文、邦文、論文等、多彩に亘っている

新聞閲覧室設置

グリークラブ跡に

学生部では学生の意識向上をはかる意味で去る十七日からグリークラブ部室跡に新聞閲覧室を設けた

朝日、毎日、読売、日経、日本タイムス、日刊スポーツ、東京等の各新聞がある

夕べのひととき

教室で厳めしい教授が、どんな姿で憩いをとっているかそういう家庭人の横顔を描くのがこの欄の目的である。

論説 考える個人に

いくばくもなくしてこの一年は判しようとする今、われわれの歩んで来た途を静かに顧りみて、反省すべきは改め、決意すべきはそれを新にして、明日の発展への糧とする心要があろう。それが人間の途でもあるのだ。

此処に生れる反省は一人個人の問題に止まるものではない個人の完成が、まず民主化する日本基本要件であるからだ。

今年になって、終戦以来活潑であった学生運動は鳴りをひそめた感がないでもない。表面だけをみれば確にそうもいえようが、十月、天皇の京大行幸に際して起った、いわゆる京大事件は、学生社会のみならず広く世間の話題をさらった。戦争の危機がひしひしと感じられる今日、万一平和が破れたら、犠牲の先端に立たざるを得ないのがわれわれの世代であってみれば、あのような左平和への公開質問状」も無理からずとの心情には肯定出来る。しかし、歴史政治の座を降りられた天皇である。かも人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間の途でもあるのだ。

此処に生れる反省は一人個人の問題に止まるものではない個人の完成が、まず民主化する日本基本要件であるからだ。

今年になって、終戦以来活潑であった学生運動は鳴りをひそめた感がないでもない。表面だけをみれば確にそうもいえようが、十月、天皇の京大行幸に際して起った、いわゆる京大事件は、学生社会のみならず広く世間の話題をさらった。戦争の危機がひしひしと感じられる今日、万一平和が破れたら、犠牲の先端に立たざるを得ないのがわれわれの世代であってみれば、あのような左平和への公開質問状」も無理からずとの心情には肯定出来る。しかし、歴史政治の座を降りられた天皇である。かも人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

もう一つ、天野文相が「国民道徳実践要綱」を出すという問題があった。結局これは世論の反対で白紙に戻されることになったが、こゝに日本人の悲劇があるよう気がする。それは人間としての天皇に活しかけるなら、もっと平和的であって欲しかった。あゝいう反平和的な行動が、そこに表れた行動だけで右翼同の傾向にある世相、いや大衆に自分たちの力で拍車をかける結果に終らないとは云えないのである。勢の流れに流される誤まった、しかし強い日本人の習性を忘れてはならないのである。

クラス委員会をどうみる

代議員の責務に不満

自治確立を疑問視

世論調査

前号に掲載したクラス委員会に関する編集部、諸新聞に大きな波紋を投げた、本紙ではこの問題に関して、全学年を対象にクラス委員会をどうみるかの学生の世論調査を行い、その結果が次の通りまとまった。

集計に現れた結果によると自治組織が確立されていないとする意見が教養科で六一・三%、三、四年生の専門学科では七三・八%を占めていると答科り、クラス委員が何をやっているのか判らぬとする意見は教養科で七九・四%、専門学部で八四・六%となって現れ、クラスを代表するクラス委員の活動が大きく批判され初めている

問一 学生会の組織はクラス委員会、体育会、文化会の三本建てになっていますがこの構成をどう思いますか

	教養科	三、四年	無解答	三・〇
現状でよい	六一・九	四四・〇	この問に対しては教養科、専門学部を通じて過半数が現状を肯定している、こゝで現状ではいけないと答えた者に対して試み	
いけない	一九・五	三八・五		
わからぬ	一五・五	一二・三		
その他	一・〇	四・六		

問二 あなたの意見はクラス委員によって充分に代行されていると思いますか

	教養科	三、四年
いる	一九・五	三・〇
いない	五四・二	七三・八
わからぬ	一八・七	一・五

この質問では教養科と三・四年生とに著しい差をみせており三、四年生では圧倒的に代行されていないとする意見が強く、一体何をしているのか判らぬという理由を挙げているのが目立った、代行されていないとする者に対して行った質問では自治組織が確立されていないとするものが教養科で六一・三%確立されているものとしている者が教養科で十七・六%、三、四年で三一・三%となっている

問三 現在クラス委員会では総会を毎月一回開いていますこれをどう思いますか

	教養科	三、四年
もっと多く	二二・五	二七・九
現状でよい	五四・一	五三・三
その他	七・二	一八・五

問四 あなたはクラス委員から総会の報告を聞いたことがありますか

	教養科	三、四年
ある	二〇・二	一二・九
ない	七九・四	八四・六

こゝでは聞いたことがないとする意見が驚威的に多く、両者共通した傾向となって表れている

問五 あなたのクラスではクラス委員の集りをもっていますか

	教養科	三、四年
もっている	六・九	四・六
いない	八六・〇	九三・九

こゝでは圧倒的に持っていないとする意見が大勢を占めておりクラス委員の代議員として性格に大きな疑問を投げかける結果となって表れている、このクラス全体の集りを招集することは学内規約となっているだけに問題は大きいとみられる

調査方法 チェック・リスト(該当する意見に印をつける)方法によりランダム・サンプリング方法で全学年を通じ約、一年の教養科と三、四年生とは別個に集計し、調査費の回収率は八五・九%だった

たその理由は質問には、各部活動と自治組織が区別されないとする意見が過半数を占め、自治に対する投票権が二重に行使される点を指摘したものがこれについている

『真理は最後の勝利者』

南原総長送別会で講演

新聞閲覧室設置

グリークラブ跡に

学生部では学生の意識向上をはかる意味で去る十七日からグリークラブ部室跡に新聞閲覧室を設けた

朝日、毎日、読売、日経、日本タイムス、日刊スポーツ、東京等の各新聞がある

会告

今年の新聞発行は本号で終りますなお来年は一月廿日号から発行致します

新聞学会

スポーツ

全日本の王者に

米蹴 第六回中子国パウル(関東、関西対関西学院大学との間で行われた前半は本学が優勢に試合を進めれば、後半ようやく関学も自己の力を、フルに発揮して試合をリードし、このパウル始って以来の肉弾戦となり、最後まで両軍とも予断は許せなかったが、結局本学は前半の得点がものを云い19—14で勝利をおさめ、初の制覇をとげた

これで関東リーグの優勝と、学生界の王座を掴り、事実上全日本の最強チームとなったわけ当日のスコアー

立大 19 (6 6 0 0 / 0 7 7 0) 14 関学

学生蹴球選手権 又、早にひねらる

惜しくも覇権逸す

第三回全日本学生バスケットボール選手権大会は去る七日から四日間メモリアル・ホールで行われた本学は勝大ともに優勝候補の筆頭に上げられていたが、第一回戦に鳥取大、二回戦には北大を撃破したが、昨年の宿敵早大と三回戦で顔を合せ前半32—26、後半21—25と、わずかなゴール差で破れ、三位決定戦には教育大に快勝して昨年同様三位に止った、なお慶大は早大に勝ち三年連続優勝を達成した

波紋

クリスマスも近ずいたが、いつも思うことは学生生活が一緒になって祝うクリスマスとは縁が遠いようだ▼門前の巨大なクリスマスツリーには装飾費がつき美しいものだが、それがダンスパーティのためにあるようなクリスマスがあるのは、チャペルには小少くダンス場は盛況する▼学校の教育方法が「基書」基等くん格教育」「真理の本源」である神を目指して…「基書教に基すく正義と愛の精神…」とある以上、基書の降誕祭において全学生がけいけんな祈りとそしてまた楽しく祝うことがあってもしかるべきである▼そしてクリスマスのプロを作成する学生会が、毎年繰り返す馬鹿の一つ覚えのようにダンスパーティしか開かずとこったり方は、当事者にたいして不満やり方なしと云わざるを為まい

▼一部の学生しか楽しめないダンスパーティでは街のキャバレーで二千円という高値で饗夜する意味のない馬鹿騒ぎと同じである▼もう少し利口な方法で孤児救済資金をわずかでも学生から募金してもらうとか、その外わずかな予算でもあるであろうが協力して饗園をやり、貧しき者のために一夜を楽しくすごさせるとか、何らかの方法があるのではなかろうか▼貧しき者に指をくわえるクリスマスであっては意味をなさない、当事者がこのようなことに積極的であれば、必ず反響があるし、またこれを行うことが基書の福音の精神である。

教室で厳めしい教授が、どんな姿で憩いをとっているかそういう家庭人の横顔を描くのがこの欄の目的である。

主方 成美 経済学入門 230 商田 偉馬 社会主義経済学入門 160
書 野村慎太郎 経済史入門 190 渋沢栄太郎 労働問題入門 160
考 高橋義次郎 貨幣論入門 160 高瀬雅太郎 経営経済入門 180
参 小島鼎太郎 金融論入門 200 渡多野 勲 国際経済入門 150
書 寺尾 繁 統計学入門 180 神中 恒夫 工業経済入門 190
科 教 杉見 三郎 財政学入門 160 久保田明光 農業経済学入門 160
学 岡崎 文彦 人口学入門 160 向井 鹿松 外国貿易論入門 260
大 福田敬太郎 商学入門 190 鹿田 武夫 現代地方財政の理論 290
—送料各冊30円—
東京神田三崎町 振替東京114868 廣文社

政治 経済 新語小辞典 一九五二年版
最新刊
講和会議を含む国際・政治・財政・経済・貿易・産業・労働・社会など各方面にわたって、新しい時代の新しい用語を明快に解説した書
馬場啓之助著 経済学の哲学的背景 400円
大東行雄著 経済生活の本質 職能と職分の問題 370円
日本経営学会編 株式会社と企業経営の諸問題 定価・四二〇円
¥120・〒15
來たるべき就職試験に備えて!
東京神田駿河台下 振替東京135番 同文館

JRヒツクス著・酒井正三郎訳
経済の社会的構造 経済学入門
従来の経済理論に於ける抽象を脱して具体的事実より理論を構成する新しい経済学入門 ¥380
図書目録進呈 送料各25円

翻訳権獲得!!
その魂の苦悩に於て「罪と罰」に構想の雄大さに於て、チボー家の人々に、その面白さに於て「風と共に去りぬ」に比せられる現代仏文学の大作!!
幸福の後にくるもの
全四巻
ケッセル 堀口大学訳
純潔を保ち、つゝ、性の神秘に惑れてゆく二人の若き夫公に配する登場人物無慮四十余人、連続する事件を驚くべき緻密な構成で貫み上げ、繋え上る青春の情熱に感嘆し、若返する魂の姿を描いて、一読巻を措かせぬ、これこそ性の本能から人間社会を解明しようとする著者の最大にして最高の傑作たるを失わない。
第一巻 メディシスの泉のほとり 十一月上旬刊 定価三三〇円
東京都新宿区矢来町 振替東京八〇八番 新潮社

要書房
敢て日本の良心に訴う
大河内一男・清水幾太郎他十五氏執筆
抵抗の学窓生活 定価一五〇円 〒一五〇円
満州事変(昭和六年)から太平洋戦争に至る十年間、それは文化ということ、学問ということが、悪に一つの抵抗であるような暗い絶望の季節であった。この暗黒の時代に、われらの先輩たちは、何を考え、何を愛え、如何に生きたのであろうか、読書の秋に絶好の読みもの。
手塚富雄著 一青年の思想の歩み 定価一五〇円 〒一五〇円
悲しむべき近代日本の激動の中を市井の片隅に過した、名もなき一青年の魂の歩みのあとに、今なお多難な歩みをつづける祖国のあらゆる人々の将来を下する尊い示唆と啓示の光を見るであろう。
東京文京区駒込曙町・振替東京11132

戦後最大の真相箱
マーク・ゲイン 井本威夫訳
ニッポン日記
驚異的賣行!! 圧倒的反響!!
上巻 二〇〇円 下巻 二二〇円 〒24円
筑摩書房
東京都文京区台町 振替・東京165768

☆キリスト教文学に新しい道を拓いた問題作☆
武藤富男著 小説 求道者
賜 ウエンライト先生のことども
木賃宿の悲惨より身を起し、この世の栄達を求めた人間が、キリストに屈服する迄の体験記録!!
キリスト新聞紙上に八ケ月余に亘り連載され、十万の読者の熱読・絶讃を博し、此の程完結上梓されたもので、強靭にして魔慢、そして懐疑的な若者の入信過程を、リアルな筆致で描き出している。
近刊
賀川豊彦監修
渡瀬主一郎・武藤富男著
現代口語訳新約聖書
(B6版 400頁 価未定)
東京 キリスト新聞社 神田
振替・東京196016

文化

危機に立つ中小企業

排すべき独占資本の再強化

神野璋一郎

(一)

戦後の日本経済の再建過程においてとられてきた傾斜生産、産業合理化、ディスインフレ等々一連の諸方策は、抽象的には「経済性の高い優秀企業の育成」ということにあったとはいえ、具体的に、そしてまた結果的には大企業中心であり、反面においては中小企業における新しい危機を発生せしめてきている事実は否定することはできない。この点はたとえば企業整備件数についてみれば明らかである。中小企業庁調査課布生産高の九二%、鉄鋼では五大メーカーによる七三%、工作機械では一社による六六%、自動車五、九九六件(八一%)は、一九九人以下の中小企業において見られるのである。この事実は一方で独占資本の再強化にみちびくと同時に、他方ではその過程における諸困難と負担が中小企業にシワ寄せされていることを明白に物語るものである。そしてこのことは終局的にはさらに勤労者へのシワ寄せとなって集中的に現われているのである。中小企業における整理はずっと継続的に進行し、こうした整理と失業から逃れるために一そうの規模の零細化をもたらしめる結果となっている。

第二次経済白書が「中小企業が再び戦前の役割を果すべき客観的条件は十分存在する」(白書廿四頁)とのべているが、これは中小企業の窮乏化―課題・下請=没落=を通じて巨大資本の強化に役立たしめるという点においては、まことに正当な発言というべきである。戦後における中小企業の危機は、新しい姿と拡大された規模における危機を再生産している。

ここで中小企業の危機と関係にある巨大資本の強化についてみると、その指標は産業諸部面における独占と集中の発展の中に見ることができる。これを数字的に見ると、紡績業では十六紡によるとは明らかである。中小企業庁調査課布生産高の九二%、鉄鋼では五大メーカーによる七三%、工作機械では一社による六六%、自動車五、九九六件(八一%)は、一九九人以下の中小企業において見られるのである。この事実は一方で独占資本の再強化にみちびくと同時に、他方ではその過程における諸困難と負担が中小企業にシワ寄せされていることを明白に物語るものである。そしてこのことは終局的にはさらに勤労者へのシワ寄せとなって集中的に現われているのである。中小企業における整理はずっと継続的に進行し、こうした整理と失業から逃れるために一そうの規模の零細化をもたらしめる結果となっている。

第二次経済白書が「中小企業が再び戦前の役割を果すべき客観的条件は十分存在する」(白書廿四頁)とのべているが、これは中小企業の窮乏化―課題・下請=没落=を通じて巨大資本の強化に役立たしめるという点においては、まことに正当な発言というべきである。戦後における中小企業の危機は、新しい姿と拡大された規模における危機を再生産している。

ここで中小企業の危機と関係にある巨大資本の強化についてみると、その指標は産業諸部面における独占と集中の発展の中に見ることができる。これを数字的に見ると、紡績業では十六紡によるとは明らかである。中小企業庁調査課布生産高の九二%、鉄鋼では五大メーカーによる七三%、工作機械では一社による六六%、自動車五、九九六件(八一%)は、一九九人以下の中小企業において見られるのである。この事実は一方で独占資本の再強化にみちびくと同時に、他方ではその過程における諸困難と負担が中小企業にシワ寄せされていることを明白に物語るものである。そしてこのことは終局的にはさらに勤労者へのシワ寄せとなって集中的に現われているのである。中小企業における整理はずっと継続的に進行し、こうした整理と失業から逃れるために一そうの規模の零細化をもたらしめる結果となっている。

中小企業の危機」という問題は日本資本主義の発展の過程において古くからの問題であると同時につねに新しい問題でもあることはあらためていうまでもない。終戦後、この問題はさきに一蹴したように敗後経済の再建過程の中で発展してきているが、すでに昨年三月には「三月危機」説をとなえた中小企業庁長官の辞任問題さえひき起した。その後、昨年六月末の朝鮮事変の勃発と、これにともなう内外需要の活発化、さらに特需にかかる受註は、軍需景気の到来を思わせ、この問題にたいする関心を弱らせたかのごとき観があった。しかも、こうした「特需景気」の発展は、かえって巨大企業と「中小企業」の発展における デコボコを拡げ、この間における大企業への註文の集中、原材料価格の騰貴、さらにインフレの爆発に端口する金融の引締め等の一連の諸事実は背後における危機の発展をたすけるものであった。中小企業におけるこうした「危機」は本年夏以降さらにはげしい形をとって現われて来た事は否定することはできない。

本年七月のマリクによる休戦提案と、これを機とする春以降の需要の頭打ちの激化輸出の沈滞、滞貨の増加さらに一部商品価格の暴落等々の事実は、その終局の負担を中小企業者が、さらに勤労者に投げかけるに至った。「中小企業問題はいつ爆発するか分らない線まで来ている」(八月廿三日 産業経済 新聞)と叫ばれるに至った。そして夏以降の中小企業の危機が具体的には金融難という形をとってあらわれた。「キヤツシユ取引は手形に変り、売掛金は北方にかさみ、滞貨は累増した。金融引締の強化で真先に犠牲に迫いこまれたのは中小企業である」(八月廿三日)といわれた。金融過迫による中小鉄鋼メーカーの二割倒産が関西でつたえられたのはこうした危機を表現したものであった。

金融難によって表現された中小企業の危機は、戦後の日本経済再建過程における巨大資本の強化と、さらにこれと結びつく中小企業育成策をあらわすものに外ならない。銀行貸出が大口融資に集中しかもこれら大口融資は旧財閥系銀行から同系統の会社に主としておこなわれ、さらに巨額資金による融資は優秀大企業に個別融資されていることなどはこの点を明白に物語っている。こうしたことについての記事は注目される一の手がかりとなろう。「廿四年一月現在、旧財閥系銀行において一千万円の大口貸出は総貸出額の三分の一以上をしめ、かつての旧財閥関係企業および戦後各企業にたいする貸出総額の十分の一に一歩を負うものであり、此の故にこの私は、男子を女子の指導的地位にあるものとして、これに信頼と敬意を捧いたい者である。

若しも仮に、少しばかりの色彩過剰な服装をしたがる者がいるとするならば――実際にはいてもいなくてもいいし、その人たちを云々する前に、先づその人たち自身の審美眼を高めるように、深めるように仕向けてやるべきではないだろうか。事は服装などの問題ではない。女子

クリスマスは神の世界に対する愛がイエスの誕生として歴史的に具現化したことを意味する。キリストの降臨は神の愛が我々に及んだことである。具体的に愛が及ぶということがクリスマスの精神である。

さゝやかであるかもしれないが、我々の愛情を他に具体的に及ぼそうといふ精神が基調の精神に対する理解と尊敬を持つ行事となるであらう。何時行われるかと言うことよりも、より重要なことは、それが愛情と善意によって一貫されるといふことであり、それが自分の為のものでなく、他の為のものであるといふことである。

(後藤真=教授)

自分の目的に都合のよいものは、何でもそれを利用しようとするのは一般の傾向である。それは必ずしも何時も悪いことではないかもしれない。しかしそうした場合にもそのもの丶本来の意義や本質に対して一応の理解と尊敬を持つだけの礼節が欲しいものである。そうでない時には、用ひられるものもともに

Xマスの理解

ほかのことはさしらずクリスマスだけは純粋にキリスト教のものである。この日に関する限り基督教の信仰と教義を離れた説明やそれらを無視した解釈は成り立たない筈である。クリスマスの名に於いて為されるならそれが何であらうとも、真のクリスマスの意義を理解した上でのものであって欲しい。

クリスマスは神の世界に対する愛がイエスの誕生として歴史的に具現化したことを意味する。キリストの降臨は神の愛が我々に及んだことである。具体的に愛が及ぶということがクリスマスの精神である。

いが、我々の愛情を他に具体的に及ぼそうといふ精神が基調の精神に対する理解と尊敬を持つ行事となるであらう。何時行われるかと言うことよりも、より重要なことは、それが愛情と善意によって一貫されるといふことであり、それが自分の為のものでなく、他の為のものであるといふことである。

(後藤真=教授)

悲しむべき文化意欲

……立大生私観……

長野聳一

「過日」「立教文学」合評会の席上で、私は次のような意見をのべた。――由来、立教生は、ダンスだ戦争だというときには、労せずして千余の声援を集めることができるけれども、文学芸術などの文化運動となると、少数の熱心家を除いて、あとは閑古鳥が啼いようなさびれ方だ。健全娯楽、健全スポーツとしてのダンス、野球もとより精神なれど、それだけの生活的エネルギーの、せめて半分なりと、文化意欲の昂揚にさし向けて文武両道とゆきたい。また、彼等の執拗なまでの食い下りは、そら恐ろしいほどだ。文学に対しても同様である。そこへゆくと立教出はしどくアッサリしすぎている。人にかわいがられるペットにはなり得るが、人を使い仕事をかわいがる包容力や図太さには欠けている」と、彼自身も且ってはたいにかわがられたであろう自習の細おもてで、満面くれないをさして、鷹揚風のフンマンを浅らしたり。

「嵐ケ丘」のヒースクリップ「モウビイ・ディック」のエイヒム船長「源成寺物語」の清姫「源氏物語」の六條御息所、「愛執の櫂」の六條御息所、「愛執の櫂」の清姫は、古来、文学史上に不滅の傑作をはなっている。これらはみな「執念の深さ」が社会秩序の調和を破って、人生の悲劇に終っているが、(終っていればこそ作中人物としての素材価値を高めているのであろうけれど)それが成功をかち得ないだけ少くない。「五重塔」の「のっぞり十兵衛」――いや、そんな仮空の人物よりも一次学の鬼・宇野浩二「将棋の鬼・坂田八段」等々、鬼はいくらでも実在の世界に棲息している。谷崎、志賀の両雄はいざ知らず、人生に対する文学にも何の興味すらおぼえないような顔をしていながら、文壇四十年のの風雪に堪えて今なお軽井沢の山荘に健筆を揮う正宗白鳥。かりそのの浮沈に屈せず、みごとに再起し、また再起させた中山義秀、中村地平と、かれらの仲間。

私はその爬虫類のような執着力をうらやましく思う。しかも「冷血」の名を厭いて、ひそかにかよう「情誼」の暖かさには、より一層の羨望を禁じ得ない。

「聞く」ならく、千葉・亀雄氏は理学部だ。サインヘコサインで苦しめられる彼らにとって「文学」は一種のリクリエーションとなるらしい。珍問奇問が続出して憂きよを忘れるのも、この組である。経済学部は、クラスによって優劣の差が最も甚しい。同じクラスの中でも、個人の差がはげしいことは理学部だ。サインヘコサインで苦しめられる彼らにとって「文学」は一種のリクリエーションとなるらしい。珍問奇問が続出して憂きよを忘れるのも、この組である。経済学部は、クラスによって優劣の差が最も甚しい。同じクラスの中でも、個人の差がはげしいことは、人間の生かつき、幸福の本質をみわけることができなければならなかった。それを度外視してその他の問題に専念するのは、いかに自分の責任感を信じ、たけたけしく自信にみちたる罪をおかすかを観察しても、本著作のように先生御自身の心情をサの美しき強い心の年」、さては様々の珠玉のような創作と、先生の業績は広くして深い。然しこの著作のように先生御自身の心情を

「研を競」う女子学生が約半数を占めていることも、自ずとエリを正ずしめる。存外、愉快なのは、「あなたは解剖の惨酷見るに堪えず、せんかたなく貧乏な文学者にうらぶれた男だ。この心臓の弱き男を、これ以上苦しめないでくれ給え」

野口教授は私に曰く「あなたは文化意欲の低調を云々するが、過去一年の除々ではあるが堅実な学生を見落していはしないか」と。「学生の友」野口さんのいうことだ。さもありなん。さもあらばまほし。……幸い、伝統を誇る本学には、文学芸術方面だけでも、著作家、杉木、辻等の、音に聞えた大家長老級諸元生をはじめ、中堅新鋭キラ星の如く鎮座まします盛況ではないか。既いて浮ばんとさへすれば、良師、良先輩にと欠く本学ではない。ことに、それらのキラ星と学生とをつなぐ肝り役としては、野口教授という得難い人材が控えている。六尺豊かの巨躯に、みなぎりあふれる精力を大面六臂に活躍させる氏は、じつに貴重なる中島健蔵的存在だ。

葬ゆく一九五一年の揮尾に徳活した「教養文学」の生長を祈るとともに、一足さきの兄貴分「立教大学新聞」の発展をも併せ願いつつ、つつしんでこの無文を「文の神」の祭壇に捧げまつる。――

(教養学科教授)

教養

―学生の服装問題に関連して―

長沢隆子

は自らその人の服装を選択せしめるけれども、しかも更にそれは、服装の如何などによってはかき消されない筈のものである。「馬子にも衣装」と云うけれども、馬子はやっぱり馬子でしかない。此の裏を返して考えれば、女子学生が赤いものを着ようと青いものを着ようと、そんなことは問題ではない。問題は着る人自身の教養如何にかかっている。

大体少しばかり派手な色彩が校内をチラチラしたからといって、そんなことが気になってとやかく云ってみたり、果ては女子学生の入格問題にまで及ぶというようなのは、云えばねりの足りないようなかんみたいなもので、まああまり勿論賛成とは云えない。そういう手合は、今少しく教養学部でねられる必要があるし、又若しそれ丈幸にして教養学部学生以外のお方とあるならば、もう一ぺんねり直された方がよろしい。

女子学生の服装などを云々する前に、女子の指導者であるべき男子自ら、なお考えてみなければならないことが、必ずしもないとは云えないようである。男女同権などという世の中にはなったけれども、将来はさて置いて、とにかく現在に於いて男子に一歩を負うものであり、此の故にこの私は、男子を女子の指導的地位にあるものとして、これに信頼と敬意を捧いたい者である。

若しも仮に、少しばかりの色彩過剰な服装をしたがる者がいるとするならば――実際にはいてもいなくてもいいし、その人たちを云々する前に、先づその人たち自身の審美眼を高めるように、深めるように仕向けてやるべきではないだろうか。事は服装などの問題ではない。女子学生が赤いものを着ようと青いものを着ようと、そんなことは問題ではない。問題は着る人自身の教養如何にかかっている。

大体少しばかり派手な色彩が校内をチラチラしたからといって、そんなことが気になってとやかく云ってみたり、果ては女子学生の入格問題にまで及ぶというようなのは、云えばねりの足りないようなかんみたいなもので、まああまり勿論賛成とは云えない。そういう手合は、今少しく教養学部でねられる必要があるし、又若しそれ丈幸にして教養学部学生以外のお方とあるならば、もう一ぺんねり直された方がよろしい。

女子学生の服装などを云々する前に、女子の指導者であるべき男子自ら、なお考えてみなければならないことが、必ずしもないとは云えないようである。男女同権などという世の中にはなったけれども、将来はさて置いて、とにかく現在に於いて男子に一歩を負うものであり、此の故にこの私は、男子を女子の指導的地位にあるものとして、これに信頼と敬意を捧いたい者である。

若しも仮に、少しばかりの色彩過剰な服装をしたがる者がいるとするならば――実際にはいてもいなくてもいいし、その人たちを云々する前に、先づその人たち自身の審美眼を高めるように、深めるように仕向けてやるべきではないだろうか。事は服装などの問題ではない。女子学生(大学院学生)=この文は本紙の懸賞論文とは別です=

新制大学に移行して、私達がよろしい。何も学生だからと数の女子学生が入って来るようになってから今年で三年。物事は何でも二年目あたりになると、そろそろ何んとかなってくるらしい。そのうちに、どうも昨今、女子学生に対するとかくの声を、私は聞かないではない。

その中で屡々耳にするのが、服装が派手であるとかないとかいうことで、一体どんなのが派手なのか又どの程度に派手なのか、だからどうだと云うのか、その御意見の程はよくはわからないけれども、まあ仮に少しばかり派手だとしてもしかし、そんなことは一向に差支えないことである。

何んなら女子ばかりでなく、男子の学生も此の際金ボタンの制服など止めてしまって、普広なり何んなり着用に及んで大いに派手にやるがよろしい。何も学生だからと云って遠慮するには及ばない。着たい人には、又着られる人には、何んでも着たいものを、又着られるものを着させるべきであり、そのことに就いては、各人は各人の教養に信頼すべきである。

教養ということ

―学生の服装問題に関連して―

長沢隆子

は自らその人の服装を選択せしめるけれども、しかも更にそれは、服装の如何などによってはかき消されない筈のものである。「馬子にも衣装」と云うけれども、馬子はやっぱり馬子でしかない。此の裏を返して考えれば、女子学生が赤いものを着ようと青いものを着ようと、そんなことは問題ではない。問題は着る人自身の教養如何にかかっている。

大体少しばかり派手な色彩が校内をチラチラしたからといって、そんなことが気になってとやかく云ってみたり、果ては女子学生の入格問題にまで及ぶというようなのは、云えばねりの足りないようなかんみたいなもので、まああまり勿論賛成とは云えない。そういう手合は、今少しく教養学部でねられる必要があるし、又若しそれ丈幸にして教養学部学生以外のお方とあるならば、もう一ぺんねり直された方がよろしい。

女子学生の服装などを云々する前に、女子の指導者であるべき男子自ら、なお考えてみなければならないことが、必ずしもないとは云えないようである。男女同権などという世の中にはなったけれども、将来はさて置いて、とにかく現在に於いて男子に一歩を負うものであり、此の故にこの私は、男子を女子の指導的地位にあるものとして、これに信頼と敬意を捧いたい者である。

若しも仮に、少しばかりの色彩過剰な服装をしたがる者がいるとするならば――実際にはいてもいなくてもいいし、その人たちを云々する前に、先づその人たち自身の審美眼を高めるように、深めるように仕向けてやるべきではないだろうか。事は服装などの問題ではない。女子学生(大学院学生)=この文は本紙の懸賞論文とは別です=

このところ、悲劇というものが私達の周囲から、どこかに葬り去られてゆくような気はするまいか。

エリオットは、カクテル・パーティ」の中に、独語の世界に追い込まれた人間の姿を描いている。対話がつづいても応答のない世界、心と心との掛け橋を失った世界、そこには価値の共通の基盤というものがなくなってきている。

(しか)し独語ができるならまだ独語人にてもあれ、〝問いかける自己〟と〝問いかけられる自己〟との対話が自分の内部に残されている限り人格崩壊。幾十年、独語に明われていても人格性を保ちうる所以である。〝問いかける自己〟〝反省する自分〟を尊ったものをケモノと云う。そして人は自己の内部で独語が破壊されてくるとき、ケモノ的となる。=私は人が放心の状態になるのなら、つまり人が物体に留るのなら、まだしもだと思う。研鑽なら仕舞い込んで無精期だとゆうことには気が付かず回復してやらねばなるまい。

(ケモノ)の生命はあの暗いひとすじの主調低音が連続している所にある。ところで暗いとはそもく精神的なものである。ケモノには暗い人生も明るい人生もありはしない。ケモノの生は本能に支えられた変動であるから内部に連続性というものがない。一時間前に、獲物に享楽していた自分と、一時間後に杭に頭をぶっつけて死にかかっている自分との間に何の連続性もない。つまりケモノには悲劇がないのである。

(悲劇)の生命はあの暗いひとすじの主調低音が連続している所にある。ところで暗いとはそもく精神的なものである。ケモノには暗い人生も明るい人生もありはしない。ケモノの生は本能に支えられた変動であるから内部に連続性というものがない。一時間前に、獲物に享楽していた自分と、一時間後に杭に頭をぶっつけて死にかかっている自分との間に何の連続性もない。つまりケモノには悲劇がないのである。

(パチンコ)玉は何かを暗示しがあり、その幻影あればこそまたはちかまいか。――パはちかれてみたくなる。たまく――ネにはちかれて、二三度キリ――その穴に頭ちこめば、そろく――と舞ひ、自分の重みのために力尽き薄気味悪いほど卵を排出する。きて、遂にあちこちの杭に頭をぶっつけた挙句、暗い穴に頭ちこむところ〳〵に「撃弾」とゆう札ゆる。しかしそこに映る自分のウンメイを狂ほしいほどみつめて

(パチ)ンコ玉は何かを暗示しがあり、その幻影あればこそまたはちかまいか。――パはちかれてみたくなる。たまく――ネにはちかれて、二三度キリ――その穴に頭ちこめば、そろく――と舞ひ、自分の重みのために力尽き薄気味悪いほど卵を排出する。きて、遂にあちこちの杭に頭をぶっつけた挙句、暗い穴に頭ちこむところ〳〵に「撃弾」とゆう札ゆる。しかしそこに映る自分のウンメイを狂ほしいほどみつめて

(ウン)メイの影を見落してはるまいか。

(ネ)ネにはちかれて杭に頭をぶっつけて死んでも人はこれを悲劇だとは呼ぶまい。かりに私が猫の身代りに死んだとて、それで悲劇になるとは限らない。悲劇とは何だらうか。

(猫が)「悲劇は人間が進んで刻んだ事件であって、人間が外的に強制された事件ではない。これはどんなに妙に聞えようとさういふものであって、凡ての悲劇の傑作が、これを証してゐる。……事件は、

(ウン)メイの影を見落してはるまいか。

(ネ)ネにはちかれて杭に頭をぶっつけて死んでも人はこれを悲劇だとは呼ぶまい。かりに私が猫の身代りに死んだとて、それで悲劇になるとは限らない。悲劇とは何だらうか。

(悲劇)「悲劇は人間が進んで刻んだ事件であって、人間が外的に強制された事件ではない。これはどんなに妙に聞えようとさういふものであって、凡ての悲劇の傑作が、これを証してゐる。……事件は、

(パチ)ンコ玉は何かを暗示しがあり、その幻影あればこそまたはちかまいか。――パはちかれてみたくなる。たまく――ネにはちかれて、二三度キリ――その穴に頭ちこめば、そろく――と舞ひ、自分の重みのために力尽き薄気味悪いほど卵を排出する。きて、遂にあちこちの杭に頭をぶっつけた挙句、暗い穴に頭ちこむところ〳〵に「撃弾」とゆう札ゆる。しかしそこに映る自分のウンメイを狂ほしいほどみつめて

(ウン)メイの影を見落してはるまいか。

(ネ)ネにはちかれて杭に頭をぶっつけて死んでも人はこれを悲劇だとは呼ぶまい。かりに私が猫の身代りに死んだとて、それで悲劇になるとは限らない。悲劇とは何だらうか。

(悲劇)「悲劇は人間が進んで刻んだ事件であって、人間が外的に強制された事件ではない。これはどんなに妙に聞えようとさういふものであって、凡ての悲劇の傑作が、これを証してゐる。……事件は、

(しか)し独語ができるならまだ独語人にてもあれ、〝問いかける自己〟と〝問いかけられる自己〟との対話が自分の内部に残されている限り人格崩壊。幾十年、独語に明われていても人格性を保ちうる所以である。〝問いかける自己〟〝反省する自分〟を尊ったものをケモノと云う。そして人は自己の内部で独語が破壊されてくるとき、ケモノ的となる。=私は人が放心の状態になるのなら、つまり人が物体に留るのなら、まだしもだと思う。研鑽なら仕舞い込んで無精期だとゆうことには気が付かず回復してやらねばなるまい。

(ケモノ)の生命はあの暗いひとすじの主調低音が連続している所にある。ところで暗いとはそもく精神的なものである。ケモノには暗い人生も明るい人生もありはしない。ケモノの生は本能に支えられた変動であるから内部に連続性というものがない。一時間前に、獲物に享楽していた自分と、一時間後に杭に頭をぶっつけて死にかかっている自分との間に何の連続性もない。つまりケモノには悲劇がないのである。

賞 懸 論文「随想」入選作発表

随想 パチンコ玉

文学部英文科四年 江河徹

本紙八一号に発表した広く読者から募集する「懸賞論文、随想」は十二月十日応募を締切ったが、今月に入って応募者激増、十余編を受けつけ、審査の結果英文科四年江河徹君の「パチンコ玉」と題する随想が入選、佳作には英文科二年勝元喜郎君の随想「千円札」と決定した。審査を依嘱した各教授揃って素直な作品として「パチンコ玉」を推せん、最高賞金千円札」については〝適者左筆致〟と推賞されたが次点に落ち、佳作二席に該当する作品はなかったなお江河君には賞金壱千円、勝元君には五百円が夫々送られる。

あのパチンコ台の前に立つ人の決して放心ではない、自棄でもない、異様な心理を想起して見給え。

ユが「異邦人」の中で描いている、太陽のせいで人を殺す、という心理が、このわたし達の周囲にも、可能性として胎まれている様な気がする。フランス語の"Absurde"とゆう単語と、我々の「不條理」とゆう訳語との間にズレがあることはまぬがれまい。ヨーロッパのニヒリズムと日本のニヒリズムの間には spacio-temporal な間隙がある。しかし何か共通して、人間が一箇のパチンコ玉になって、動物めいた生の衝動にはき出され、ウンメイを狂ほしいほどみつめて、むなしい空間をかけめぐって、ねる様な感はしまいか。自分が人を殺すとゆうことも、おそ気が良いとゆうことも消行づりの事故に入るにはまた悲哀がある。彼らにはパンがないからではない。パンなきられた言論」(学風書院)、「中世」(岩波書店)、「英中谷宇吉郎「日本の心」(文芸春秋新社)ボレル・芦野次郎訳「確率と生活」(白水社クセジュ文庫)筑摩書房)、「望郷」上(角川書店)、ジャン・オースチン"Pride and Prejudice"松波信三郎「考える葦」(角川書店)

中村哲

マーク・ゲイン「ニッポン日記」(筑摩書房)、関田進「労働法」(岩波新書)、

杉木喬

専攻以外の本についてだけあげます。

(一)「現代詩大系」(河出書房)

(二)「原爆の子」(岩波書店)

(三)はわれわれの過去から現在までのつながりを詩の方面でとらえるために

(四)はわれわれの身近かな問題を考えるために

なお、古本屋で見つけるか、図書館で見るかして、「群像」所載の広津和郎対中村光夫のカミユ論争を、たんねんに読んでみることをおすすめします。いろいろな問題がある筈ですから

松田智雄

「理もれた金印」=女王卑弥呼と日本の黎明=(岩波文庫)、ルカーチ「ドイツ文学小史」(岩波現代叢書)辻荘一「ジューベルト」(音楽の友社)、青山秀夫「マックス・ウェーバーの社会理論」(岩波書店)

村地考一

シュレリンガー岡小夫訳「生命とは何か」(岩波新書)

書評

青年学徒の指針

―手塚富雄著「一青年の思想の歩み」―

野口定男

〝ひとりの人の死によって私のうかがい知ったことは、人間の生には、より高い真実とより深い幸と不幸の無限の可能性があることだった。その真の規準をつかむことが生の真髄に触れることであると思えた。しかしそれは食物の分配のしかたを第一原因とみる領域のことではなかった。無限の可能性世界を切りはなし、表面のわずかな波の現代だけを唯一の問題とし、それによって一切を解決しうると心をおどりたかぶらせることは、人を救ってそれを幸福にすることはおろか、自分をさえ救うことは不可能だった。もし他をしんに救うことを願うならば、まず自分が謙遜な心にもどって知慧にちとへ人間を殺すことに終らうとも人間によって染まれた様に進行したという感情を生むのである」(小林秀雄、「武蔵野夫人」論)

ハムレットの悲劇は、遂に敵の毒に倒されるあたりにあるのではない。彼の生涯を貫いて、絶えず聞えてくるあの暗い、ひとすじの主調低音の既流がある。数箇の事件は、あれが、誘い出す不協和音なのだ。

(し)し独語ができるならまだ独語人にてもあれ、〝問いかける自己〟と〝問いかけられる自己〟との対話が自分の内部に残されている限り人格崩壊。幾十年、独語に明われていても人格性を保ちうる所以である。〝問いかける自己〟〝反省する自分〟を尊ったものをケモノと云う。そして人は自己の内部で独語が破壊されてくるとき、ケモノ的となる。=私は人が放心の状態になるのなら、つまり人が物体に留るのなら、まだしもだと思う。研鑽なら仕舞い込んで無精期だとゆうことには気が付かず回復してやらねばなるまい。

(ケモノ)の生命はあの暗いひとすじの主調低音が連続している所にある。ところで暗いとはそもく精神的なものである。ケモノには暗い人生も明るい人生もありはしない。ケモノの生は本能に支えられた変動であるから内部に連続性というものがない。一時間前に、獲物に享楽していた自分と、一時間後に杭に頭をぶっつけて死にかかっている自分との間に何の連続性もない。つまりケモノには悲劇がないのである。

アンケート

私の推薦図書

冬休みの読書手引

細入藤太郎

清水幾太郎「社会心理学」(岩波書店)、「英米文学講座」(河出書房)、マーク・ゲイン「ニッポン日記」(筑摩書房)、斎正蔵「戦後風雲録」(鱒書房)

器匠谷英一

上村清延「ドイツ文学史概説」(福村書店)、倉田百三書簡集「青春の息の跡」(角川文庫)

杉捷夫

一、都留重人「自由と平和の友に」(要書房)、黒田秀俊「血ぬ専攻以外の本についてだけあげます。

(一)「現代詩大系」(河出書房)

(二)「原爆の子」(岩波書店)

(三)はわれわれの過去から現在までのつながりを詩の方面でとらえるために

(四)はわれわれの身近かな問題を考えるために

なお、古本屋で見つけるか、図書館で見るかして、「群像」所載の広津和郎対中村光夫のカミユ論争を、たんねんに読んでみることをおすすめします。いろいろな問題がある筈ですから

松田智雄

「理もれた金印」=女王卑弥呼と日本の黎明=(岩波文庫)、ルカーチ「ドイツ文学小史」(岩波現代叢書)辻荘一「ジューベルト」(音楽の友社)、青山秀夫「マックス・ウェーバーの社会理論」(岩波書店)

村地考一

シュレリンガー岡小夫訳「生命とは何か」(岩波新書)

今年の映画ベストテン

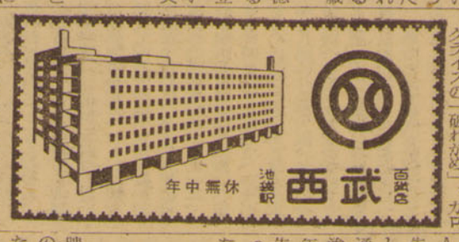
映研で選出

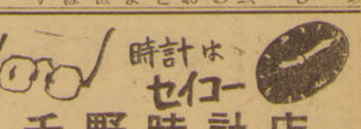
映研では今年度封切の外映、邦映のベスト・テンを次の通り決定した

外国映画 ①我が谷は緑なり き②邪魔者は殺せ③イヴの誘惑④悪魔の美しさ⑤雲の中の散歩⑥サンセット大通り⑦陽気な幽霊⑧港のマリー⑨チャンピオン⑩踊る大ニューヨーク

日本映画 ①麦秋②めし③偽れる盛装④カルメン故郷に帰る⑤愛妻物語⑥白痴⑦命美わし⑧風雪二十年⑨源氏物語⑩自由学校(松竹)

群是製糸株式会社





千野時計店
本店 豊島区池袋二ノ一一五六 電話大塚(86)四七〇五
支店 豊島区池袋二ノ八五三

時計・眼鏡・貴金属
美宝堂時計店
本店 池袋西口バス通り 電話(86)2191
支店 池袋東口都電終点

日動火災海上保険株式会社
代理店 千歳商会
主幹 木村千万樹
本社 東京都中央区銀座西五丁目一番地
支部 東京都豊島区池袋一丁目六七四番地 電話大塚(86)二五九六番
事務所 東京都北区志茂町一丁目五五九番地

優秀技術と信用を誇る
高級紳士服 大学高等服
櫻井洋服店
池袋立教大学通り

高級洋服デパート
株式会社 結城屋
既製服部 注文服部
豊島区池袋西口バス終点前(豊島区池袋立教通り)
電話大塚(86)〇八六九番

愛する文房具店
清文堂
池袋西口バス通り

立教大学指定専用店
飯田洋服店
(池袋西口バス通り)

味の店
志のぶ食堂
御集会にも御利用下さい

煙草屋の店

カバン ハンドバック コーリン
池袋西口バス通り
TEL(86)3211

名画案内
18日―24日 賭大 はいなさる れた幻影
25日―29日 白短 雪篇 色彩 姫漫画
30日―1月4日 若草 草物 語き
5日―9日 わアラ がビア 谷はン 緑なナ リイ
10日―14日 夜踊 もる 書海 も賊
15日―19日 ギ 猛 ルと 獣 令 ダ嬢
学生・早朝 50円
新宿 地球座

21日より公開 虹を摑む男 24日まで
25日より公開 氣まぐれ天使 27日まで
新春興行第一弾! ターザン映画のNO.1!
28日より登場公開 ターザンの復讐
新宿 ヒカリ座

豪華絢爛たるこの番組
流酒な劇場(松坂屋ヨコ) 銀座コニー
★21日―27日 山本嘉次郎監督 三船・高峰・池部主演 女ごころ誰か知る 東宝作品
★28日―2日 新春に放つ第一弾! 傑作ラブ・コメデー 上原・杉・山根 越路 主演 結婚行進曲
★3日―10日 黒沢明脚本 森一生監督 羅生門の名トリオが作る迫真の時代劇! 決闘鍵屋の辻
★11日―17日 パラマウント総天然色映画 ボツブ・ホープ再び西部に登場! 腰抜け千両役者
★18日―24日 ユナイテツト アーチス映画 赤い河 快調ジョン・ウエインが主演する傑作の西部開拓劇!

腰抜け千両役者
パラマウント社自主配給第一陣!
新春興行 笑いの爆弾!
ボツブ・ホープ ルシル・ボール 主演
BOB HOPE · LUCILLE BALL
Fancy Pants
27日―3日 松坂シネマ

★新春日活が贈る豪華番組
27日―3日 リバブリック映画ジョンフォード監督 リオ・グランデの砦 ジョン・ウエイン モーリン・オハラ主演 駅馬車を凌ぐ西部大活劇!!
4日―10日 血と砂 タイロン・パワー リンダ・ダーネル主演 リタ・ヘイワース 廿世紀フオツクス超特作天然色映画 映画史に不朽の一頁を飾る名画!
11日―17日 RKOラジオ映画 超大ゴリラ・ジョーウ・ヤングの大活躍 猿人ジョー・ヤング ベン・ジョンスン主演 テリイ・ムーア 怪力ゴリラ・ジョーヤング
池袋日活

特撰 既製服
紳士服 オーバー 学生服 其他
立教人の経営する 近代人のための店
ゆうきや
池袋東口・都電終点前 TEL(86)2362